## MRT宮崎放送 SDGs宣言「北の国から南の国から」 G WALS

北海道富良野から自然の尊さを訴え続ける作家・倉本聰氏。いのちを、地球を未来につなぐために今、すべきことは一 倉本氏に、その思いを聞いた。



新環北 を点描画に描くなど、 フが宮崎出身であったり、 ドラマ「北の国から」の制作スタッ

R

TOSDGs

宣言

生活しながら、 問題への警鐘を鳴らし、富良野自然 何より、環境問題への取り組みに 宮崎のかかわりは深い。しかし、 倉本氏は北海道富良野の森の いて、出会いは偶然ではなかった。

みやざきビューティフルキャンペーン の水質悪化が顕著となり、 ともなう歪みから、ごみ問題や河 推進を目的に始まったMRTキー 宮崎においても、 高度経済成長に 環境保全の

悩んでいるとき、

れている「五感を使った環境教育」家・倉本聰さんが富良野自然塾で実践

それとも別の角度からアプローチするのか。

持続可能な社会の構築をめざしてき いずれも次世代につなぐ





## 想像力がアクセル 欠かブ

走っている。こんなことをやってい が2つあると思うんです。1つはブ このスーパーカーは付け忘れた道具 たら息切れして心臓麻痺をおこしま マラソンを日本人は終戦からずっと ろうとしない。 です。バックギアが無いから誰も戻 もう1つはバックギア、戻れないん レーキ、止まる器具がつ 加藤 皆さんが「北の国から」をご覧 高度成長でジャ カーを作ったわけです。 つまりゴールの無い いてない。 パンという

倉本氏自身と

崎県の放送局として

MRTは何

塾を主宰して自ら環境教育を実践 作品を通して環境 中で

取り組んできました。

この延長線上でやって

のか、

報道し、多くのキャンペーンなどに

平和で豊かな地域社会の実現に寄与

壁にぶつかりました。

ること」をモッ

活動3年の節目を迎える。

SDGsのヒントがたくさんあった から」の中には、MRTがやるべ

本さんが執筆されたドラマ「北の

多くの事を教えていただきました。

気づかせていただきました。

ご本人を訪ね、その教育の体験を通じて

速、北海道富良野へ赴き倉本聰さん

しました。

刻まれています。 そこにも倉本さんのメッセージが 富良野自然塾には多くの石碑があ なったら寝るんです」

夜になったらどうす

るの?」

ませんよ!」「そんなことはないですよ」

電気がない?

電気がないと暮ら

理屈と行動は どっちが大事ですか 批評と創造は 車と足は どっちが大事ですか 石油と水は どっちが大事ですか あなたは結局何のかのと云いながら あなたは感動を忘れていませんか 知識と智恵は 『あなたは文明に が世の春を謳歌していませんか どっちが大事ですか どっちが大事ですか 麻痺していませんか

地球は子孫から借りているもの』 もうひとつ、印象的な一文がありました

県民の皆様と一 ないかとMRTは考えます。 SDGsの本質はここにあるのでは RTは宮崎県の放送局として、 ンプルで深いこの言葉を心に刻み しい S D 緒に

して、バックギアをどうやって

いざバックギアを付けたと

どこかあるのではないでしょうか。

南の国から」SD

GS活動を行

ックギアが欲しいという思

なって胸を打たれるというのは、

**倉本氏** みんなあると思います。

ックギアを懐かし

む声はあるんだ